



# 学校教育

多様化する時代に適した教育環境とは？

☎子ども課学校教育係 ☎0943-32-1194

## 地域とともにある学校づくり

近年、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える問題は複雑化しており、それらを解決するために、学校と地域の連携が以前よりも重要視されるようになりました。物事が多様化する現代社会の背景を踏まえ、文部科学省は「地域とともにある学校づくり」を進めています。これは、子どもたちにより良い教育環境を提供するために「学校と地域が協働して教育インフラを構築していこう」という取り組みです。

## 広川町での取り組み

広川町でも、多くの地域住民の参画を得て「地域学校協働活動」を行っています。これは、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、地域と学校が互いにパートナーとして連携・協働して行う、さまざまな活動です。

その一環として、各小学校では「地域ネット活動」を行っています。休校日である土曜日に学校施設を開放し、各学年ごとに合わせた運動教室などを行っています。

### ●下広川小学校(せきじんネット)



#### 〈児童の感想〉

- ・今までの土曜ネット教室の中で一番楽しかったです。
- ・先生にコツを教えてもらい、上手にラリーができました。
- ・運動のほかにも、ドライフラワーやレジンなどで何かを作りたいです。

### ●中広川小学校(中広ネット)



#### 〈児童の感想〉

- ・エスライド(滑り台)が速くて面白かったです。
- ・いろいろな人に教えてもらい、とても楽しくできました。
- ・中広ネットを久しぶりにできて、すごく楽しかったです。

### ●上広川小学校(しらかねネット)



#### 〈児童の感想〉

- ・また、こういった土曜教室をしたいです。
- ・今日はとても楽しかったです。次はサッカーがやりたいです。
- ・卓球は何回もしていたけど、今回はすごく楽しかったです。

## 地域×学校Ⅱ 「充実した教育環境の実現」

中広川小学校(11月19日)、上広川小学校(11月26日)、下広川小学校(12月10日)を会場に、地域ネット活動を行いました。コロナ禍の状況を考慮し、2年間中止していましたが、感染対策を徹底した上で開催しました。

当日は、1・2年生対象の「体を使って遊ぼう」、3・4年生対象の「ファミリィバドミントン」、5・6年生対象の「卓球」の3つの運動を実施。運動を通して、みんな楽しくコミュニケーションをとることを目的としています。バドミントンと卓球の講師には、町内で活動する地域活動支援サポーターを招き、基礎的なことから学ぶ機会になりました。

参加した子どもたちは、それぞれの運動に笑顔で取り組み、終了後のアンケートでも楽しかった、3・5パーセントが「まあまあ楽しかった」と答え、「楽しくなかった」と答えた児童は一人もいない結果となりました。

## 広川町ボランティア活動センター

# よかよかだより

実際にボランティア活動センターへ寄せられた相談内容から、ボランティアについて一緒に学んでいくコーナーです。

### ・前回のあらすじ

「ひょっとこ踊り」を披露してくれるボランティアに夏祭りの余興をお願いした広川たろうさん。地域とボランティアがつながり、2年ぶりの開催となった夏祭りは大盛況の中、幕を閉じました。後日、ボランティア活動センターを訪れたたろうさんが語った「今の思い」とは……。

### 登場人物



広川たろうさん

定年退職し、今年度から区の役員を担う。



ゆみさん

センター常勤スタッフ。「笑顔で対応」がモットー。

## 「地域×ボランティア ～つながり～」の巻



たろうさん

ボランティアのご協力により、最高の夏祭りになりました。ボランティアの皆さんが登場すると会場から拍手が沸き起こり、笑い声に包まれました。コロナ禍前を思い出したように、みんなで笑い合い、幸せなひと時を過ごすことができました。

ボランティアの皆さんからも「自分たちの特技を活かして誰かの力になればと思っていたけれど、反対に元気をもらいました。地域を明るく元気にしたいという、みんなの思いが繋がった素敵な時間でした」と、喜びの声が聞かれましたよ。



センタースタッフ  
ゆみさん



たろうさん

打ち合わせの段階から、それぞれがアイデアを出し合いながら、一緒にプログラムを考えました。夏祭りを成功させたいという思いに共感していただいて、本当に心強かったです。

さまざまな人がつながり「協働する」場面では、今回のように、それぞれの活動に敬意をもち、お互いの思いを尊重しながら、一緒に形にしていくことが大切なのかもしれませんね。



センタースタッフ  
ゆみさん



たろうさん

今回の出会いを通して、私も、ボランティアに一歩踏み出してみようかと思っています。「自分にできることで、誰かの役に立てれば」という気持ちが強くなりました。夏祭りについても、こんなに地域の人に愛されていたんだと再確認させられました。地域で集うことの意味を改めて実感し、「次の世代につないでいくこと」「みんなで文化を守っていくこと」に力を注いでいけたらと思っています。

誰かを思う気持ちがつながることで、ボランティアの輪が広がっていきますね。私たちも、たろうさんの「ボランティアの一歩」を応援しています。これからも、お気軽にご相談ください。



センタースタッフ  
ゆみさん

ボランティア活動センターは、ボランティアへの思いと情報が集まる場所です。一人ひとりの思いを大切に、さまざまなボランティア活動を一緒に考え応援します。まずは当センターへお越しください。

ボランティア活動センター「よかよか」  
はなやぎの里 2階・平日 8:30～17:15  
☎ 0943-32-7073 FAX 0943-32-7074